

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 玉田 尋三 (濱 浩二)	内線	4 4 7 4 ( 4 4 8 0 )
------	-----	---------------------	--------------------	----	------------------------

事業種目	街路	事業名	事業区間	総事業費	約 5 2 億円
		都市計画道路 尾上小野線(良野工区)	加古川市野口町 坂元～長砂	内用地補償費	約 4 5 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
加古川市野口町坂元～野口町長砂	H 1 8 年度	H 1 8 年度	H 2 3 年度

事業目的	事業内容
<p>本路線は加古川市のほぼ中央部に位置する南北主要幹線道路である。以下の目的から事業を計画する。</p> <p>広域ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨南北道路を介して市域中心部から北播磨地域内陸部への連携機能の強化を図る。</li> </ul> <p>渋滞交差点の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県渋滞交差点解消プログラムに位置づけられている国道2号野口交差点の慢性的な渋滞を解消する。</li> </ul> <p>良好な歩行空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広幅員の自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全性を向上する。</li> </ul>	<p>道路新設 L = 9 3 0 m(バイパス)</p> <p>現況：2車線 歩道無し W= 5.5 (7.0)</p> <p>計画：4車線+4.0m 両側自歩道 W=13.0 (30.0)</p> <p>昭和39年都市計画決定</p> <p>交通量</p> <p>自動車</p> <p>現況 : 14,525 台 / 日 (H17年実測)</p> <p>計画 : 25,000 台 / 日 (H42年予測)</p> <p>歩行者現況: 737 人 / 12h (H17年実測)</p> <p>自転車現況: 513 台 / 12h (H17年実測)</p> <p>[負担割合 国 0.55、県 0.225、市 0.225]</p> <p>混雑度: 1.3</p>

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>現道は交通量が多い上に歩道が未整備であり危険であるため、自転車歩行者道を設置することにより安全性の向上を図る。 (平成15年の死傷者数12人、死傷事故率239人/億台km)</li> <li>災害時には、広域防災帯としての機能を有し、地域防災拠点である鶴林寺公園へのアクセス道路となる。</li> </ul>
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨南北道路、国道2号バイパス(加古川バイパス)、国道2号及び国道250号を連絡し、幹線道路機能を強化することにより、東播磨地域の臨海部と内陸部を連携し地域の活性化を図る。</li> <li>市街地の中環状線、外環状線として都市内道路ネットワークを形成し、交通機能の強化を図る。</li> </ul>
快適性、ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>両側歩道(幅員4.0m)のセミフラット化により段差を解消すると共に、野口小学校への通学路にもなり、高齢者・障害者に配慮した安全で快適なゆとりのある歩行者空間の整備を行う。</li> </ul>
(2) 有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用便益比 B / C = 3 . 4</li> <li>東播磨南北道路に合わせて、本路線を整備し広域ネットワークの形成を図る。</li> </ul>
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイパス設置により、美しい街並みや緑化などを誘発し、良好な居住環境の形成に寄与する。</li> <li>車道部には低騒音舗装、歩道部には透水性舗装を行い、高木植樹等を実施することにより環境負荷の軽減や沿道環境の保全に努める。</li> </ul>
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接する東播磨南北道路はH23年度に完成予定であり、本路線の完成を合わせることで、早期に広域なネットワークが完成し整備効果を高める必要がある。</li> <li>渋滞解消プログラムに位置づけられている野口交差点を含む本路線の慢性的な渋滞解消を図るため、早期に着手する必要がある。</li> </ul>